

(参考様式6)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和2年8月25日

ふりがな	ながのけんきばんせいびちくかつせいかけいかく
活性化計画名	平成27年度 長野県基盤整備地区活性化計画
ふりがな	ながのけんいなし
計画主体名	長野県(代表)伊那市
計画主体コード	20000.202096
計画期間	平成27年度～令和元年度
事業実施期間	平成27年度～令和元年度
活性化計画区域	長野県伊那市(手良地区)

※平成28年以降は関連事業(農業基盤整備促進事業等)にて引き続き事業実施。

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	63.7ha 〔うち農山漁村活性化 プロジェクト支援交 付金分 13.5ha〕	60.8ha 〔うち農山漁村活性化 プロジェクト支援交 付金分 13.5ha〕	95% 〔うち農山漁村活性化 プロジェクト支援交 付金分 100.0%〕	

(コメント)

本地区は、老朽化が著しく維持管理に多大な労力を費やしていた農業用排水施設について更新・整備を行い、農業の担い手確保や農業経営基盤の強化を目指しているが、令和元年度末現在で、目標とする受益面積(63.7ha)の95%(60.8ha)に係る施設の更新・整備が完了し、供用開始されている。

## (2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	基盤整備（農業用排水施設）	
事業内容及び事業量	用排水路 L=6,607m うちL=367mを農山漁村活性化プロジェクト支援交付金により実施	
事業実施主体	伊那市	
管理主体	伊那市	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成27年度	平成27年度 <small>平成28年度～平成29年度は農業基盤整備促進事業を活用して実施 平成30年度～令和元年度は農地耕作条件改善事業を活用して実施</small>	令和2年4月1日
事業の効果	農業用排水施設の整備・保全により用水の安定供給が可能となり、営農における維持管理労力が軽減され、実施地域における持続的な農業と経営の安定が図られた。	

## (3) 総合評価及び今後の方針

<p>(コメント)</p> <p>老朽化により機能が低下した農業用排水施設を整備することにより、生産性の向上や担い手への集積に向けた営農環境を整えることができた。</p> <p>今後の方針としては整えた環境を生かし担い手への集積化を促進し農業の活性化を図っていきたい。</p> <p>「また、地区の人口は、1,005人（計画時〔H26.10.1時点〕）から946人（R2.4.1時点）と減少率が5.9%に抑制されており、活性化計画の目標としている減少率6.0%未満を達成できている。」</p>
--

## (4) 第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>事業実施により労力の軽減、経営の安定が図られたことを受け、今後、農地の集積・集約化を促進し、地区の活性化を図っていただきたい。</p>
--

## 2 活性化計画の目標の評価等

### (1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	人口減少率の抑制		
	目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$	
	6.0%未満	5.9%	200.0%	

### (2) 今後の方針

(コメント)

老朽化した農業用排水施設を整備したことにより、用水の安定供給が可能となり生産性の向上及び、維持管理労力の軽減が図られ、担い手への集積に向けた営農環境を整えることができた。

また、地区の人口は、1,005人（計画時〔H26.10.1時点〕）から946人（R2.4.1時点）と減少率が5.9%に抑制されており、目標としている減少率6.0%未満を達成できている。

今後の方針としては、未改修の排水路についても市単工事等で整備を進め、担い手が持続的に農業を営める環境を整備することで定住を促進し、さらなる人口減少率の抑制と地域の発展を目指す。

### (3) 第三者の意見

(コメント)

当該地区は、居住地と農地が区分されている地区であり、農業は基幹産業として重要な位置づけとなっている。そのため、基盤整備に伴う農業環境の整備による効果は非常に高いと考えられます。